

I 高校教育改革の必要性

計画の位置付け

「第3期群馬県教育振興基本計画」(計画期間:平成31年度～令和5年度)の部門計画であり、「第2期群馬県教育大綱」(令和3年3月策定)の方向性を踏まえたもの

計画期間

令和4年度から令和13年度までの10年間

01

社会の変化

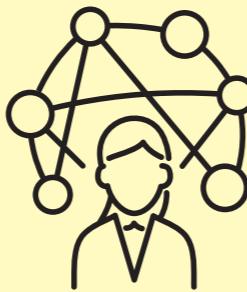
複雑かつ予測困難な課題を抱えた
現代社会において、成年年齢の
18歳への引下げもあり、高校教育の
果たす役割が大きくなっている。



02

生徒の多様化

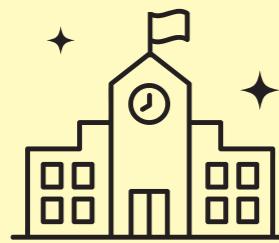
高校進学率が99%に達し、生徒の
学習ニーズ、興味・関心、
進路希望などが多様化している。



03

生徒数の減少

中学校卒業者の減少が今後も
続く中で、学校の活力維持や特色化が
求められている。



04

教育のデジタル化

全国に先駆けて県立高校に1人1台
パソコンを整備。生徒の学習ニーズや
理解度に合わせた、個別最適な学びと
協働的な学びなどを推進する。



II 特色ある高校教育の推進 (5つの取組の方向)

～群馬ならではの学びの推進～

「誰一人取り残さない」社会を目指すSDGsの理念の下、全ての生徒に「たくましく生きる力の育成」を図ることを、いつの時代にも不变の目標と位置付け、取組を推進する。

また、新しい価値を創造することのできる「時代を切り拓く力の育成」を取組の方向の第一に掲げ、
教育のデジタルトランスフォーメーションによる学習環境の整備を進めるとともに、教育イノベーションを
推進し、「群馬ならではの学び」の充実を図る。



時代を切り拓く力の育成

- ・社会の課題に主体的に向き合い、他者と協働して課題解決に取り組む力を育成
- ・グローバル化やデジタル化の時代を生き抜くためのリテラシーを備え、
新しい価値を創造できる「始動人」を育成

取組例

- ・探究型学習(総合的な探究の時間、STEAM教育等)の充実
- ・外国語教育の充実・プログラミング教育の推進



確かな学力の育成

- ・生徒の多様な学びのニーズに対応しつつ、
新たな時代に求められる確かな学力を育成

取組例

- ・1人1台PCによる学習の個別最適化
- ・ICTの活用による協働的な学びの充実



たくましく 生きる力の 育成

- ・自他を大切に、互いに認め合う心を持ち、生涯を通じて健康で活力ある生活を送れるよう、
健康な心身を育成

取組例

- ・生徒主体の体験的な活動の推進
- ・情報モラルの向上と人間関係形成能力の育成



信頼される魅力的な学校づくり

- ・新たな課題への学校の対応力を向上させるとともに、全ての生徒が安心して学べる環境の整備や、特色ある学校づくりを推進

取組例

- ・ICTを活用した学校業務の効率化や教育環境の一層の整備
- ・学校の魅力化、県立高校の再編整備



地域との連携・協働の推進

- ・郷土への誇りや愛着の心の育成、地域に根ざし、幅広い分野で活躍できる人材の育成

取組例

- ・地域の課題解決や魅力向上をテーマとした学習の推進
- ・地域や産業界と連携した学校の一層の特色化